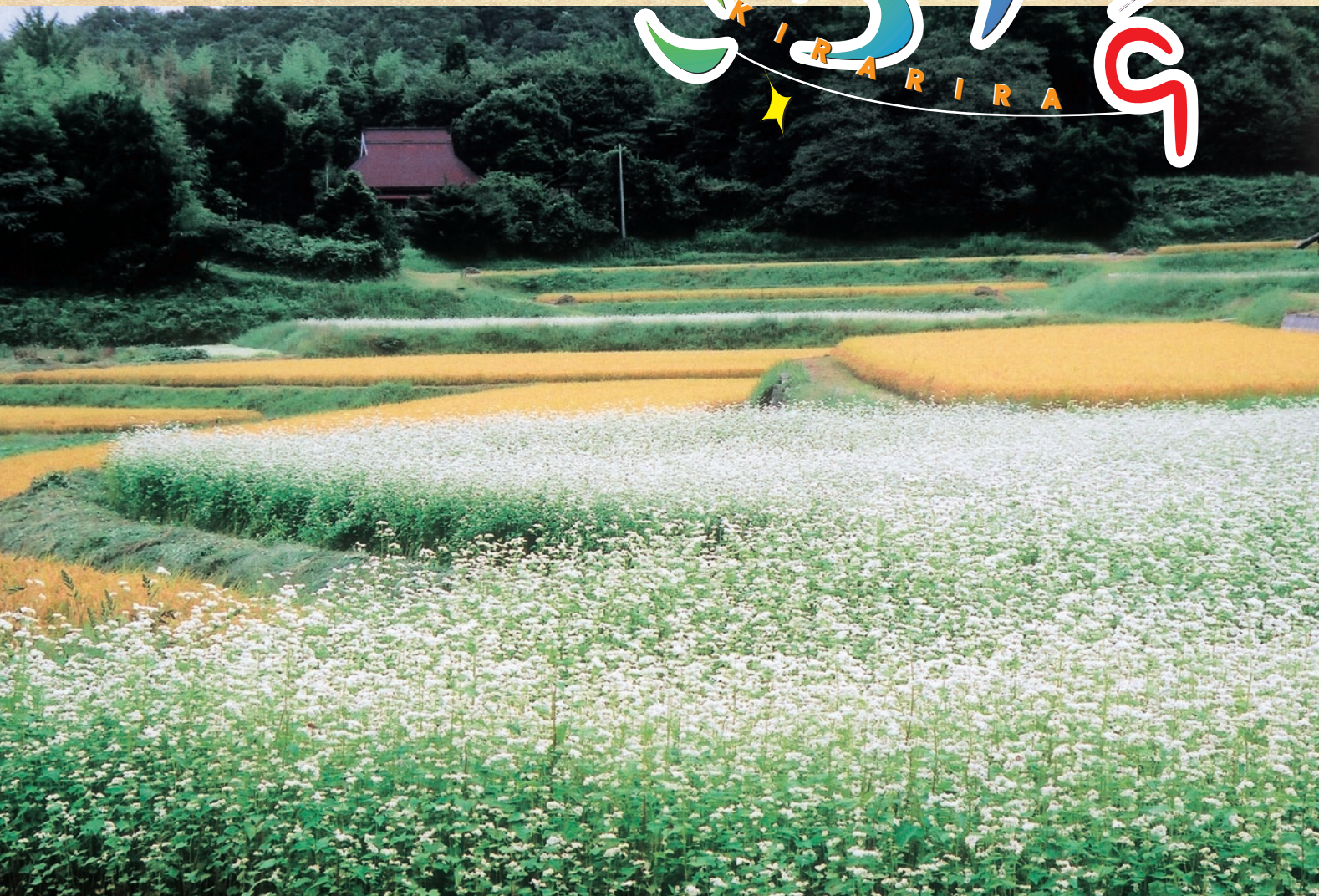




写真提供／鯉が窪美写者会 奥田 秀男「高野の風景」

命にかかわる重要な社会基盤である医療体制が、医師不足や偏在など深刻な危機に直面しているといわれます。

哲西地域では平成13年、佐藤医師・内藤歯科医師を迎え旧町出資の医療法人によって診療所が開所（17年から中医師が加わる）として以来、診療所・行政・市民が一体となって命と健康を守る地域包括ケアを推進してきました。

診療所では、24時間365日何でも診るという地域医療が実践され全国から注目を浴びるまでになりましたが、これを維持発展させるためには地域の医療をみんなで支えるという意識をさらに高めていくことが求められています。

今春来新の日本医学会長高久史磨先生も権威ある専門誌で「本来、地域の医療は、診療所や開業医の先生方が地域の人たちをまず診察し、必要に応じて第2次・第3次の病院へ送るというシステムを構築することともに、国民もこのシステムを信頼し支える意識を持たなければならぬ」と強調され、その中で「（医師を）招く、支える、育てる」のキーワードで活動している新見の「小児医療を守る会」や哲西の「地域包括ケアの取組み」が、地域の医療を救う一つのモデルケースといえるのではないかと全国に紹介されています。

どちらの取組みも全市に拡げていきたいものです。

NPO 通信

地域の医療を守ろう!!

●ご寄付ありがとうございました（敬称略）

■香典返し

- 田邊 恭子(亡夫克史) 上神代
哲西中学校へ文具券
- 赤木 晃久(亡長男孝行)大野部
日の本区へ金一封

■見舞返し

- 山田 康子(本人) 上神代
佐藤地区へ金一封

■一般寄付

- 松本多恵子 上神代
NPOきらめき広場へハガキ

■哲西図書館へ本を寄贈してくださった方々

- 池田 大徳 畑木



掲載をご希望の方は NPOきらめき広場事務局 (TEL94-2143・FAX94-2100) までご連絡ください。

独立行政法人福祉医療機構
[長寿・子育て・障害者基金]
助成事業

きらりら
子育てサロン

どなたでも参加できます!



新見市社会福祉協議会

夏のボランティア
体験事業
受入

8/6



市内の中学生、高校生との出会い

9月の
予定

- 10日(水) 9:00~15:00 勉強会(乳幼児の歯について) 内藤歯科医師(哲西診療所)
- 20日(土) 9:00~12:00 小中学生とふれあい遊ぼう! 牛乳パック使用
- 24日(水) 9:00~12:00 誕生会・エプロンシアター 道の駅伝習館

問合せ先

NPOきらめき広場 事務局 〒719-3701岡山県新見市哲西町矢田3604
TEL(0867)94-2143 or 090-8994-7068 FAX(0867)94-2100
HP:<http://www.npo-kirameki.jp/> E-mail:post@npo-kirameki.jp

大竹地域の資源保全活動
みんなで守る地域の宝

大竹地域（大竹地域資源保全委員会68戸・農業者、非農業者178人・6団体）では、田・水路・ゲート・農道・ため池をみんなできめ細やかに手入れして長持ちさせるとともに、共同作業を通して集落機能を向上させ、地域の資源や農村の環境を守る事業を行って

ります。

岸本上女性グループ・岸本下女性グループと二本松の2戸の農家は「私たちの地域をお花畑にしよう」とパンジー・ビオラ・マリーゴールド・ペゴニア・ヒマワリ・コスモス・日々草等を植え5箇所の休耕地を花畑にしています。



夏はやっぱり水あそびだね！

たんぽぽクラブ

きらめき広場・哲西の中庭で水あそび

たんぽぽクラブに参加しませんか

子育ての仲間づくりや情報交換の場になっています

- ◎行事によっては、実施日時、場所を変更する場合があります。
- ◎出欠の確認は行いません。自由にご参加ください。
- ◎直接開催場所へお越しください。
- ◎たんぽぽクラブの入会は、哲西地域に住所がある就学前のお子様を対象です。
- ◎問合せ先 新見市哲西支局市民福祉課Tel94-2112

8月9日、きらめき広場・哲西 文化ホールで短歌交流の集いが開催されました。

この日は、伊藤一彦先生をお招きして「女性の短歌魅力」と題した講演と、短歌の講評（応募作品の中から）をしていただきました。

応募作品の中から優秀な作品を選び、8月31日の牧水歌碑祭で表彰されます。



見たい・知りたい・伝えたい！

みんなの広場 Kirarira News



時折激しい雨に打たれながら各団体や市民が最後まで踊りきりました。

雨のため開会式はきらめき広場・哲西文化ホールで行われました。



阿哲商工会長賞を受賞しました！

雨の中でも熱気が伝わる！

にいまるまるはち

2008夏祭りin哲西

8/16

TESSEI SUMMER FESTIVAL



阿哲商工会 リサイクル講習会



阿哲商工会女性部は婦人会哲西支部、農協女性部哲西支部、愛育委員哲西支部、栄養改善委員哲西支部合同で7月19日、阿哲商工会哲西支所で「地球に優しいエコロジーライフを考える」と題して講演会を開催しました。

この日は、講師に明和製紙原料株式会社社長 小六信和さんをお招きし講演していただきました。小六社長は雑誌（古封筒、包装紙、チラシ）として可燃ごみに出している紙を使つてはがきを作り「捨てればゴミ、分別すれば紙は再生され紙はゴミじゃない。」ということをわかりやすく説明されました。

また、これからの取り組みについて話し合い、①リサイクルが今なぜ必要なのか②回収されたものの行方はどうなっているのかを広報し一人一人が出来ることから取り組んでいけるよう啓発していくことになりました。（①・②については来月号に掲載予定）



健康福祉まつりでの「診療所探検隊」
子ども達の目は輝いていました。



小学校、中学校に
出向いての健康教室。



日本プライマリケア学会にて
哲西から5題発表しました



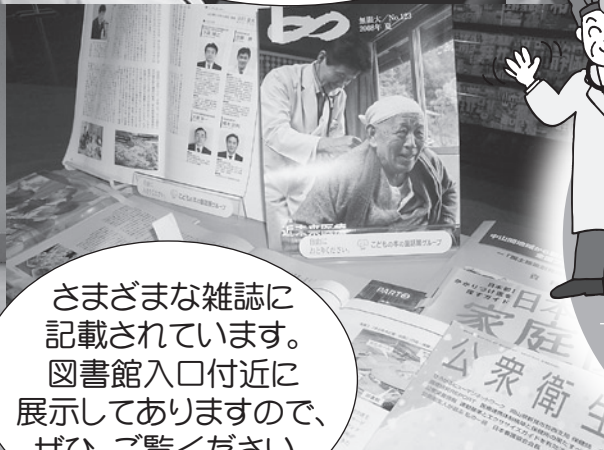
健康福祉まつりの
「よろず健康
相談コーナー」



昨年は19組の
視察団が
来られました。



3/16地域医療研修会
(下記の佐藤医師のお話)



さまざまな雑誌に
記載されています。
図書館入口付近に
展示してありますので、
ぜひ、ご覧ください。



哲西町
診療所

住民のニーズに対応した
幅広い診療に従事



ミニディサービスでは、
生活習慣病、脳梗塞、
肺炎など、身近に
起こりうる病気について
講演をしています。

内科

佐藤医師のお話 3/16地域医療研修会

まなび広場で「安心できる地域医療をめざして」と題して地域医療研修会が行われました。当日は700人もの入場があり、かたぐるしそうな題名の割にはたくさんの方々が来られ、大変びっくりすると共にこの地域の住民の方々の地域医療への関心が高いものと感心致しました。

特別講演では、日本医学会長であり自治医科大学学長（佐藤、中の母校でへき地医療を担う医師を養成する大学）の高久史磨先生から「これからの地域医療」ということでお話を頂きました。大変お忙しい方ですが、東京から日帰り（朝6時〜夜10時までの日程）で新見の地まで来てくださり、貴重なお話を頂き大変感謝を致しました。

それに引き続きパネルディスカッション「新見市の地域医療を考える」では私がコーディネーターをつとめさせていただきました。渡辺病院院長遠藤彰先生、新見市婦人連合協議会長であり新見市栄養改善協議会長の中川初美様、新見市の小児医療を考える会代表の宮脇克志様、新見市長石垣正夫様をパネリストとしディスカッション致しました。

わが国のあちこちで、「地域の病院から医師がいなくなった。医師が確保できない、病院の経営が上手くないかない」といった声が聞かれます。その一方で、「医師を派遣しない大学が悪い、国や県、市町村に策が感じられない」といった声もあがっています。今、地域医療の確保・充実へ向けてまず大切なことは、誰かを糾弾することではなく、住民、行政、

崩壊となる中、新見市でも同様に医師の確保が難しく、残った医師が過重な勤務体系となり医師自身が倒れそう」と、救急告示病院をおろされた経緯もお話になりました。特に当直医が足りない。医師1人が1ヶ月に多い人が11〜12日の当直で、2〜3泊連続が普通で、もちろん昼間も休むことなく仕事をしながら、という状態。医療現場は非常に大変であることを述べられました。救われることに都会から来た若い医師のほぼ全員が「新見の患者さんは人柄が良いですね」と言われる。それほど住民はいい人が多いです。との発言でした。

次に宮脇さんから、新見市には小児科医が不在であったため自分の子どもが病気になるに救急で県南の病院へかかった経験から、自ら「小児医療を考える会」を立ち上げ、14,000人の市民の署名を集め小児科医をこの地に招いた。その後新見に1人の小児科医を疲弊させないようにならなく小児科のドクターに過重な労働にならないように、こんな症状ならすぐに受診、こんな症状なら明日受診などといった、親同士が勉強をして無用な受診は控えるように医師を大切にしようというグループで勉強をするようになった、と報告されました。これらの活動が認められ行政なども動き子育てサロンのような活動が全地域に広がっています。

最後に石垣市長から、救急告示病院がなくならなくて市内4病院には無理をいつている。医師確保には自身もかなり動いており、県にも強く働きかけているが、なかなか難しい現状もある。尚ITを使い遠隔医療などにも力を入れていることも報告されました。

そして医療関係者みんなが、地域医療とそれを取り巻く環境がどうなっているのか、その現状と問題点をしっかりと認識し、まず受け止めることが大切だと思います。

そして、地域の中で、行政、医療関係者はもちろんのこと、住民一人ひとりが、地域医療の問題を自分たちの問題と考え、当事者意識持ち、問題解決に向けて臨むことが必要と思われまます。すなわち、住民、行政、医療関係者が共に手を取りあつて、地域医療づくりをすすめていくことが基本であると考えられます。この「地域医療づくり」は、生活と密着した「まちづくり」「地域づくり」へと直結します。地域医療づくりには住民の皆様が積極的に参加し、行政、医療関係者と一緒になつて取り組みの輪をひろげていけば、地域の活性化、ひいては魅力あるまちづくりへと繋がっていくと思います。このパネルディスカッションでは、新見市の地域医療をめぐる現状と課題を明らかにした上で、限りある社会・医療資源の中でどのようにして地域医療の確保・充実を図るべきか、皆様と一緒に検討したいと思っています。そして、みんなで今できること、すべきことを考えてみたいと思います。ということパネリストの発言でした。

中川さんからは市民として救急告示病院がなくなったこと、医師の減少に危機感を感じ不安である。栄養委員としてボランティア活動をする健康づくりの輪を広げていること、医師も忙しいだろうが市民と交流をもつともってもらって市民の現状を知って頂き市民と医師が連携していければ。との発言でした。

遠藤先生からは「全国でも報じられているように全国のあらゆる地域が地域医療医師不足に関しては「まねく」ことはほとんどの自治体でなされていますがその後のその医師を「支える」ことが大切なのかもしれません。そういった意味では宮脇さん達の活動は素晴らしいと思います。そういった地域には医師も残りたいと思うし、また来たいと思うかもしれません。私が哲西で温かく支えてくださる人々がたくさんいるので居心地が良いと思うのと同じように。更に「育てる」ことも大切だと思います。哲西には若い初期臨床研修医が計33名も来てくれ1ヶ月間いた後に地域医療、診療所の医療もおもしろい。やり甲斐がある。と感じて帰ってくれます。こういう若い医師達がまたこの地に帰ってくることを期待したいと思っています。

いずれにしても住民、行政、医療関係者がお互い本音を出して腹を割って話し合い、まずは現状を理解し（中川さん、宮脇さんからは、遠藤先生のお話を聞かれそれほど医療現場は大変であることをはじめて知った。とのこともあるように）今後の地域医療のあり方を考えていくことが大切だと感じました。

今後住民、行政、医療関係者がお互い話し合う場を頻繁にもつことが必要だと思われまます。

高久先生にもこのシンポジウムの助言者として参加していただき、この新見での取り組み、特に宮脇さん達の活動については全国にも誇れるとお褒めのお言葉を頂き、有難く思いました。高久先生が「良かった良かった」と大変上機嫌でお帰りになりました。尚その後あちこちで高久先生が宣伝され、その結果、本診療所も以前に増して取材などが増えております。



楽しい夏休み!
子ども達で
にぎわった図書館

哲西図書館利用者のための
乳幼児一時預かり
毎月第1・第3月曜日10:00~12:00
きらめき広場・哲西プレイルーム
※9月第3月曜日(15日)は
お休みです。

先月の展示

哲西荘のみなさんが、
掲示してくださいました。
いつもありがとうございます!



暑い中ありがとうございました!



図書館 だより

新見市立哲西図書館
TEL94-2110 FAX94-2100

休館日のお知らせ
・年中無休です
[年末年始、蔵書点検日を除く]

子ども映画会

日時 9月13日(土)14:00~
場所 きらめき広場・哲西
ブラウジングコーナー
内容 DVD「ななみちゃん⑤」



おはなし会



日時 9月20日(土)14:00~
場所 きらめき広場・哲西
プレイルーム
内容 ボランティアの方による
絵本の読み聞かせ

今月の展示本

◎展示コーナー〈夏バテ対策〉

本格的な夏バテ・夏疲れはこれからやってきます。
衣食住から夏バテ対策に関
係する本を集めてみました。

◎児童コーナー〈敬老の日〉

やさしいおじいちゃん、
おばあちゃんの絵本を
展示しています。



ボランティア体験事業 受け入れ お礼

今回お願いした作業は、哲西分館の
中の旧図書室での本の片付けや掃除で
した。

猛暑の中、エアコンのない場所で汗
と埃にまみれ、一生懸命作業してく
れました。ホントに暑かったですよね!鼻
もムズムズ。よく頑張ってくれました。

職員一同感謝の気持ちでいっぱい
です。

ほんとうにありがとうございました。
ボランティア受入担当 矢田谷



ぱんだ組

今年の夏は、きらめき広場・哲西で
元気いっぱい過ごしました。
小さなプー11でも、
みんな仲良く水遊び!



暑さなんかは
まけないぞ!

今年度は、「水泳技術の習得」と
「命を守る」ことや「心の成長」を
目指すことを目標として7月27日、
校内水泳発表会を実施し、全校で
取り組んだ児童の成果を参観して
いただきました。低学年は水にな
れるところから、上級生になるに
従って技術面での向上や体力面
での成長を見ていただく良い機会
となりました。

4年生以上は、長時間泳ぐこと
が可能な「平泳ぎ」にポイント
を絞って頑張りました。その後、新
見消防署哲西分署のご指導で心肺
蘇生法や人工呼吸法、AEDの取り
扱い方法などについて、教職員と
保護者で意欲的に研修しました。

その中に「学年支会活動」とい
う活動があります。この活動は、
学年単位で、保護者同士、子ども
同士、担任と保護者や子どもとの
交流や親睦を図ることを目的とし
たものです。

今年度は、夏休みが終わるまでに、
きらめき広場でパン作りをしたり、
干子でカレー作り・ます釣りをし
たり、矢神小学校で親子スポー
ツ・そうめん流し、うどん打ち、
キャンプをしたりと、それぞれの
学年の特性にあった工夫した活動
ができました。

学校や担任の主体ではなく、保
護者が中心の活動
で、どの活動も
和気藹々の雰
囲気の中で行わ
れました。



学年支会活動

矢神
小学校



特色ある学校づくり 水泳発表会

野馳
小学校



今年度、「水泳技術の習得」と
「命を守る」ことや「心の成長」を
目指すことを目標として7月27日、
校内水泳発表会を実施し、全校で
取り組んだ児童の成果を参観して
いただきました。低学年は水にな
れるところから、上級生になるに
従って技術面での向上や体力面
での成長を見ていただく良い機会
となりました。

4年生以上は、長時間泳ぐこと
が可能な「平泳ぎ」にポイント
を絞って頑張りました。その後、新
見消防署哲西分署のご指導で心肺
蘇生法や人工呼吸法、AEDの取り
扱い方法などについて、教職員と
保護者で意欲的に研修しました。

頑張った ジェシカさん

哲西
中学校

去る6月17日から7月18日の約
1ヶ月間、米・カリフォルニア州
出身のジェシカさん(15歳・女性)
を聴講生として本校に受け入れま
した。彼女は難波隆文さん宅(哲
西町畑木)にホームステイしなが
ら二女の英里さんが在籍する3年
生に所属し、毎日自転車通学しま
した。アメリカでは日本語科目を
1年間履修し、日本の文化を体験
を通して学びたいというのが留学
のねらいだったようです。期間中
は3年生と全て同じ生活をし、部
活動はバスケットボール部で活動
しました。ジェシカさんの将来の
夢は、漫画家かバイオリニストに
なることだそうです。本人は勿論
のこと、本校の生徒たちも良い経
験になったことと思います。(写真
は、帰国する数日前に花壇の水や
りを自主的にしているところ
です。)

